

みずほCustomer Desk Report 2020/07/16 号 (As of 2020/07/15)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	107.30 AUD/USD
TKY 9:00AM	107.25	1.1410	122.39	1.2573	0.6988
SYD-NY High	107.31	1.1452	122.50	1.2649	0.7038
SYD-NY Low	106.67	1.1391	121.84	1.2554	0.6974
NY 5:00 PM	106.93	1.1411	122.04	1.2586	0.7007

NY DOW	26,870.10	227.51	日本2年債	-0.140	0.00bp
NASDAQ	10,550.49	61.92	日本10年債	0.020	0.00bp
S&P	3,226.56	29.04	米国2年債	0.156	▲0.20bp
日経平均	22,945.50	358.49	米国5年債	0.287	▲0.32bp
TOPIX	1,589.51	24.36	米国10年債	0.632	0.73bp
シカゴ日経先物	22,920.00	190.00	独10年債	-0.4460	0.30bp
ロンドンFT	6,292.65	112.90	英10年債	0.1630	1.60bp
DAX	12,930.98	233.62	豪10年債	0.8920	▲1.50bp
ハンセン指数	25,481.58	3.69	USDJPY 1M Vol	5.44	▲0.03%
上海総合	3,361.30	▲53.31	USDJPY 3M Vol	6.10	0.02%
NY金	1,813.80	0.40	USDJPY 6M Vol	7.20	▲0.00%
WTI	41.20	0.91	USDJPY 1M 25RR	-0.65	Yen Call Over
CRB指数	141.22	1.23	EURJPY 3M Vol	7.53	▲0.07%
ドルインデックス	96.08	▲0.18	EURJPY 6M Vol	8.15	0.03%

東京 東京時間は107.25レベルでオープン。前日のリスクオン地合いで買い優勢であったユーロやCNHなどのクロス通貨で巻き戻しのドル買いが進んだものの、ドル円への影響は限定的。日銀金融政策会合は現在スタンスの維持が発表されたため材料視されず、上下12銭の狭いレンジで推移し107.24レベルで海外に渡った。

ロンドン ロンドン市場のドル円は107.24レベルでオープンし、ロンドン朝8時以降は主要通貨に対するドル売りが優勢となり、ドル円は下落。節目の107円を突き抜けたと下落基調がさらに拡大し、106.87まで下げた後、106.88レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2590レベルでオープン。アジア時間の終盤でポンドが売られる流れを引き継ぎ、早朝はじりポンド安。午前中に、英アストラゼネカ製薬会社が、英オクスフォード大学との連携を通じて得た新型コロナウイルスに対するワクチンの開発や研究の成果について、「近いうちに良いニュースについて発表する」と発言したことが報じられ、リスクセンチメントが改善し、ポンド買いドル売りが加速した。一時1.2635まで買われ、1.2633レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルジャー 00531 444 179 マクルヒル)

ニューヨーク 前日夕方のトランプ大統領の会見は、香港自治法に署名したことが明らかになったものの、ノイベントとなり、日銀金融政策決定会合も驚く内容でなかったことから、狭いレンジでの推移が続き、昨日報じられたものとは別のワクチンが有効とのデータがあり、9月にも量産可能との報道を受け徐々にリスク志向のドル売りが強まり、106.87まで下落し、106.88レベルでNYオープン。朝方は7月NY連銀製造業景況指数が予想を上回り、続いて発表の米6月鉱工業生産が、構成の75%を占める製造業生産の伸び等を背景に予想を上回ったことから、リスク志向のドル売りが強まり106.71まで下落する。その後はユーロ円が下落する動きにドル円も連れて106.67まで下落するが、ユーロドルも下落する展開に、ドル円は下値をサポートされ106.97まで戻す。午後は翌日のECB理事会を控え、狭いレンジでの推移が続き、106.93レベルでクロスした。一方、リスク志向から海外市場でドル売りが優勢となり、6/10の高値1.1422を抜け、1.1447まで上昇したユーロドルは、1.1439レベルでNYオープン。朝方も市場予想を上回る米経済指標発表を受け1.1452まで上昇する。その後は利益確定の売りに1.1402まで反落する。午後は翌日のECB理事会を控え、狭いレンジでの推移が続き、1.1411レベルでクロスした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:木村・松本

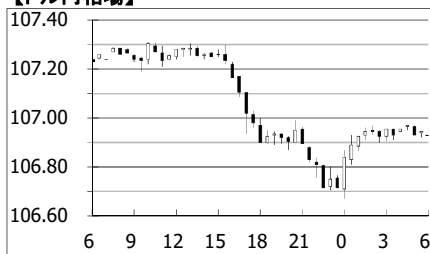
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月15日	15:30	日銀会合 黒田総裁 記者会見		
	21:30	NY連銀製造業景況指数	7月 17.2	10
7月16日	03:00	ページブック		-

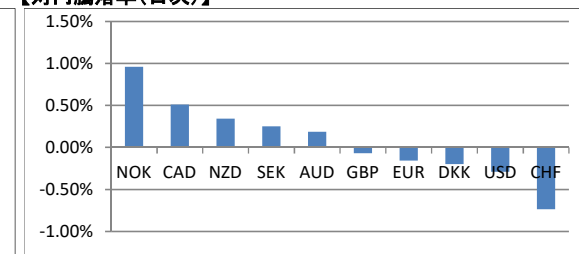
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月16日	10:30	豪 失業率/雇用者数変化	6月 7.3%/100.0k	7.1%/-227.7k
	11:00	中 GDP(前年比)	2Q 2.4%	-6.8%
	11:00	中 鉱工業生産/小売売上高(前年比)	6月 4.8%/0.5%	4.4%/-2.8%
	20:45	欧 ECB主要政策金利/預金ファシリティ・レート	16-Jul 0%/-0.5%	0%/-0.5%
	21:30	米 小売売上高速報(前月比)	6月 5.0%	17.7%
	21:30	米 小売売上高(除自動車/前月比)	6月 5.0%	12.4%
	21:30	米 フィラデルフィア連銀景況	7月 20	27.5
7月17日	00:10	米 ウィリアムズ・NY連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	106.40-107.30	1.1340-1.1460	121.40-123.00

【ドル円相場について】

先日のドル/円相場は107円を割り、7/10の安値の106.64を試す動き。海外時間に新型コロナウイルスのワクチン開発に進展が見られた上に、7月NY連銀製造業景況指数や米6月鉱工業生産が予想を上回る結果となり、リスクオンのドル売りが進んだことで106.67まで下落。その後小幅に反発して106.90近辺でクローズ。本日のドル/円相場は106.50-107.50でのレンジ推移となることを予想。ECB理事会での復興基金に関する議論に注目が集まっているが、イベント前は現在水準での推移が維持されると見込まれる。